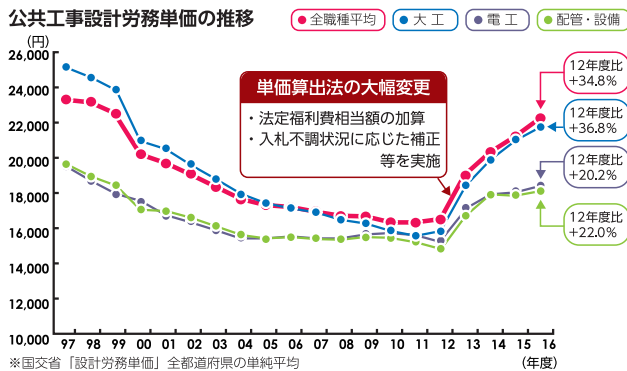


# 建設産業が 大きく 変わります!

## 国交省が4度目の 設計労務単価引き上げ

技能者の高齢化と若者の入職不足が深刻です。他産業に劣る賃金や社会保険未加入など、受注競争で悪化した技能者の処遇改善に建設業界をあげた取り組みが始まっています。国交省も下落した設計労務単価を4年連続で引き上げ、業界団体や行政、民間発注者に適切な賃金支払いと法定福利費を適正に計上した経費支給を繰り返し要請しています。



適正な単価での契約

適切な賃金と法定福利費の支払い

下請業者も技能者の賃金引き上げを

社会保険未加入対策が大詰めに

だから、組合は現場で働く技能労働者の処遇改善を求めてきた

技能者と建設業の未来のために

公契約条例

賃上げ

単価上げる

仕事をとるために見積を安く…

単価は下がる一方だ

いつも泣かされているが仕事のためだ

下請けにガマンしてもらうか

発注者の値下げ圧力!!

もっと安く! もっと安く!

労働者の処遇を悪化させ、担い手がなくなる…

長時間労働

社保未加入

低賃金

負の連鎖

インフラの将来を誰が見てくれるの?

5年経っても最年少

自分より若い人に現場で会ったことない

現場作業員急募

施主・元請け企業・下請け企業・現場技能者など関係者が一体となり処遇改善の実現を目指しましょう!

見積書

法定福利費を計上しましょう!

下請け業者が勇気をもって

法定福利費を明示した見積書提出を「見積条件に明示」

・国土交通省「社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン」  
・日本建設業連合会「社会保険の加入促進に関する実施要項」

※関係団体が一堂に会して

適切な賃金  
適正な法定福利費を現場で働く技能者に

処遇を改善させよう

「標準見積書」の活用を約束

教授 行政 厚労省 国交省 元請 下請 組合 住宅 不動産

設計労務単価引き上げ 担い手3法成立

政策の大転換